

PRIMULA CUNEIFORIA BULLETIN

Primula

発行所: 東京都八王子市散田町3-38-6B primula.ac@gmail.com <http://primula.mizunodesign.com> プリムラ山の会(通巻96号) 2014年12月3日発行 発行人: 大坪邦久 編集/デザイン: mizunodesign.com

プリムラ山の会

Primula96

contents

クローワール	02
In a Shot	岡孝雄 03
96号のお題：山の忘れモノ。	04
ドロミテ 2014 その2	桜井弘 05
小川山フリークライミング、3回まとめて	佐藤正俊 09
秋のハイキング	たいらまり 12
子連れハイク (3歳)	市瀬江利子 14
今年の沢のまとめ ～もう冬だと言うのに～	初鹿裕康 17
甲斐駒ヶ岳・中央稜	佐藤正俊 20
マイナールートは楽しいニャン＝^_^＝ その7	
～信州・男山、男山ダイレクトの巻～	初鹿裕康 22
景色を見ながら！	初鹿裕康 24
なほみさんのいつまでやってんだクライミング日記。	水野奈保美 28
山行一覧 (1) 2014年8月17日～10月9日	30
山行一覧 (2) 2014年10月9日～11月5日	31
編後記ですよ	32

山の高さが動く・・・

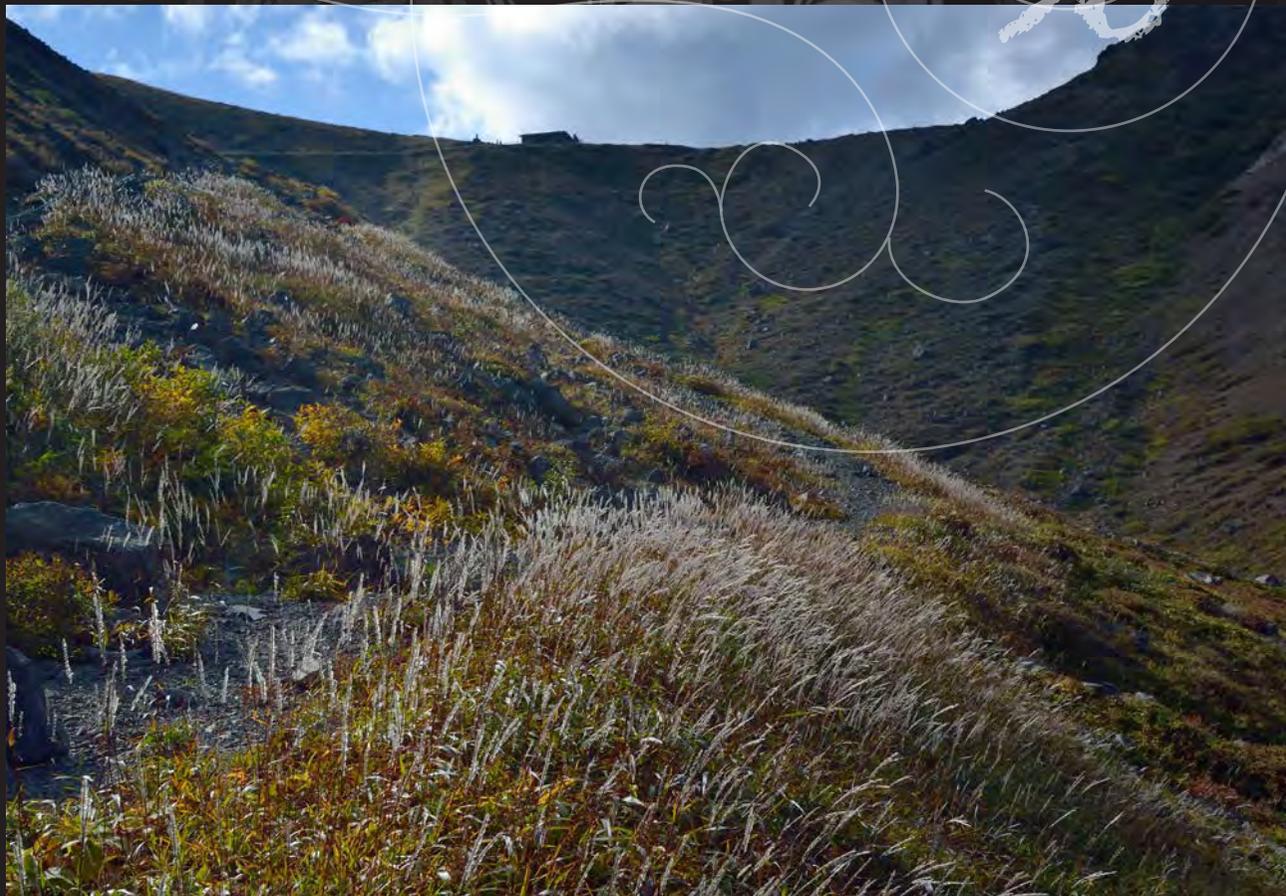
本年4月、山梨県の観光キャンペーンに、「我県には、日本の1位(金)、2位(銀)、3位(銅)までの山が全て揃っています・・・」と報じられていた。最高峰の富士山、2位の北岳、新たに3位の間ノ岳が紹介された。4位の間ノ岳が3位の奥穂高岳と並び3190mの3位になったのだ。南アの3000m峰では他にも赤石岳、荒川岳が1mずつ標高を伸ばしている。阪神淡路や東日本の大震災と同時期に、決まって糸魚川～静岡構造線の北部の断層が大きな動きを示す。今回は、微妙な活動を始めた火山の噴火に誘発されるかのようにおきた神城断層上での地震である。逆断層の沈み込みとせり上がり部分が、画面に映し出されていた。神城断層は、後立山の東側に位置する断層であるから、沈み込み側の後立山の山々の高さにも微妙に影響が出てくるのではと・・・。

山の高さをめぐる話題は枚挙に暇がない。かつての劔岳3000m騒動を思い出す。明治40年の初測量以後2998mとされ、昭和5年3003mに変更される。私の持つ5万分の1の地図には、劔岳は3003mと記されている。しかし、昭和43年以後は、国土地理院により2998mと書きかえられた。測量による見直しの結果である。落胆した岳人がどれ程いたことか・・・。「頂上に2mの石を積もうか」と真剣に論議された。「これ程までに厳しい山なのに、3000mを超えないなんて考えられない」と「試練と憧れ」が言わしめた山である。それだけに、山に対する思いと山の高さが一致しない事が、こんな気持ちを生み出したのであろう。実際、頂上に石を積み、その分が山の高さに換算されているのではと思える山も幾つかはあるのだが・・・。

結局は、そこまでして3000mの山にすると、山の真の価値が下がるとの結論に達した。それ以後は「3000m級の山」と称されるようになった。

三角点の測量が実施されるたびに、劔岳の標高が高くなっているのではと期待するも、偽らざる自分の気持ちである。(平成16年 劔岳は2999mへ変更。あと1m)

神城活断層に寄せて [O.K.]



光る穂波 那須・茶臼岳 2014.09.22

岡孝雄

今秋の訪れは各地で早く、ここ那須連峰も1週間から10日ほど早いようだ。那須岳の紅葉といえば姥ヶ平が有名だが、子供達が小学生だった頃一緒に行った、三斗小屋温泉から三本槍岳・奥那須温泉へ下ったときのことを思い出し、今回は峰の茶屋から朝日岳方面に足を向けた。

茶臼岳を俯瞰気味に眺望できる朝日岳や、熊見曾根周辺の熊笹とウラシマツツジ・他の赤や黄色の植生が織りなす錦の景観は、那須岳の冬を中心に撮影の重点を置いていた私としては予想を大きく上回る驚きであった。

晴天に恵まれ大いにのんびりした時間を過ご

し、往路に見ておいた峰の茶屋下部のススキ(?)の群生に、夕方の光が入る時間を待つ。予想通り穂波は茶臼岳の暗い斜面を背景に光り輝き、一日の最終光を放っていた。山は背景に入らないが、峰の茶屋が小さく存在しているので十分山岳写真として通用しそうだ。満足の一カット!!

組写真を完成するため一週間後再訪したが、光る穂波は前回時の方がはるかに良かった。今回は雲がなく、雲間からの光が差し込まずに立体感にかけた。一期一会・・・とは良く言ったものだ。自然の恵み(?)に感謝!!

山で落としたものは数々あれど、忘れ物となると、やはり1997年のスキルブルムか。最初はチョゴリザに行く予定だったが、印パ紛争の関係で許可が取れなかった。スキルブルムの遠征の前半は天候が良く、早く登頂出来る様なら帰りはゴンドコロ峠を越えて帰ろうと言う話だった。結局出来なかったのだが…。**チョゴリザ**、そして**ゴンドコロ**。忘れ物をいつか取りに行かなければと思う。(H. H.)

山に行くときに忘れたものは**数知れず**。でも、山で忘れてきたものもいっぱいある。**羽毛服**や**スコップ**、**へつでん**に**サングラス**、その他いろいろ。でも、**みんなで無事に帰ってこられれば**、そんなことは大したことではないね。(E. I.)

忘れて痛い目をみたのは、**ライター**の**スベア**とか**コンロ**の**スベア**とかの**火の元**の**予備**。湿った体を温めることもできず、濡れた**シュラフ**で震えた。以来、同行者にも**コンロ**を持たせるよう心がけている。(M.T.)

最近**物忘れ**が激しくなっていますが、山での**忘れ物**は、あまり記憶にありません。それより**20代の頃**の様に、**何が何でも自分の力や技術**でなんとかしようとする**気持ちを忘れて**いたくない。(H. S.)

昔、山ちゃんが**ゴーヤ**チャンプルを作ってくれるというんで、私が**ごま油**持ってくよ！と**元気よく**言ったにもかかわらず**すっかり**忘れて、**やまちゃん**にも**ものすごく**怒られた。そういう山ちゃんは**ゴーヤ**を忘れて来ていましたとき。米も**1回**忘れて、**初鹿家**の家計を**圧迫**したことがあったねw。新しいネタとしては**末端壁**で**アップ**すんの**に**ロープ結んで、**さて**シューズを履こうとした時、**持ってきて**いなかったのに**気づいた**、この**3回**くらいと思うよ。(N. M.)

Primula 96

ドロミテ 2014 その2

・・・桜井 弘

日程:2014年7月4日~15日

メンバー:桜井、西本

7月10日(木)

FIRST SELLA TOWER 2533m

Via dei Pilaststrini

4級+ 6ピッチ 150m

朝には雨が止んでいたの山へ向かう。午後から

天気も悪そうなので、短か目のルートに行く。セラ峠に車を置くが、他にクライマーの姿はみえない。3ピッチの核心は、私の番になる。スタンスは連日の雨でびしょ濡れで、仕方なく唯一乾いている細かいスタンスの所を登る。少し下にハーケンが2本打つてあるので、最悪落ちたとしても、止まるだろうと強引に超える。次のピッチは西本さんが途中まで行くが、その先は脆そうなので桜井が行く。次のピッチは、



セラ峠 南壁全景



セラ峠 ルートの途中からの景色



PIZ CIAVAVES South Face Via ルートは右側のコルから稜線を行く。

取付からみてどうなっているのだろうかと心配していたが、狭いチムニーを抜ける。最後は1m幅の切れ目をジャンプする楽しい所。

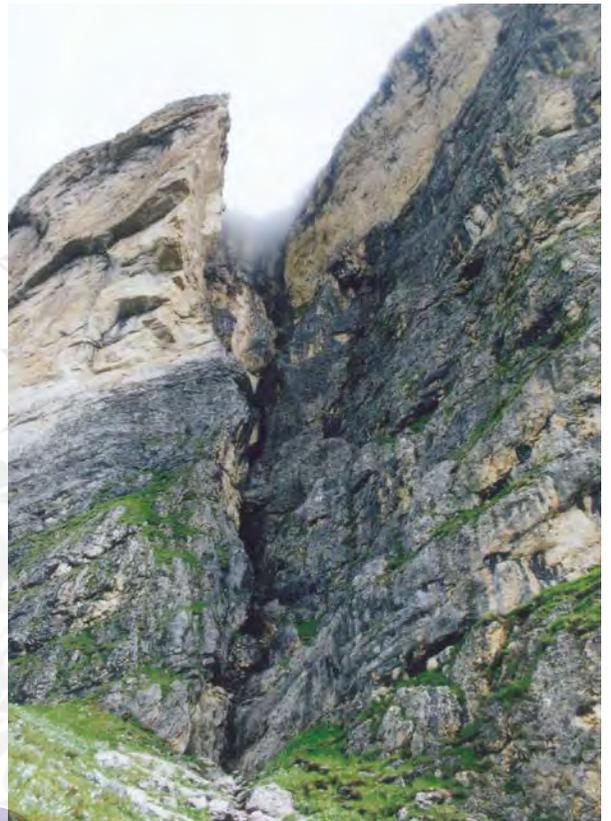
頂上からは、マーモットの写真など撮りながら、セラ峠に戻る。

7月11日(金)

PIZ CIAVAVES South Face Via (ROssi)

4級 8ピッチ 285m

標高の高い所は、雪が残っているので、近場に行く。岩場の近くの道路脇に車を止めると、雨が降り始める。仕方なく待機する。しばらくすると雨が止んだので、壁の状態を空身で見に行く。道路脇から10分程なので気軽に行けるのがいい。予定のルートに行ってみると、まだ湿っているので、壁の他のルートを見物してから、1時間後に取付く。ルンゼ



PIZ CIAVES ルートはルンゼ状の右側の壁



登攀最終日のアプローチ。久々の晴れ。



登攀最終日の1P目に行く先行パーティー。

の右側を登って行く。核心部の5ピッチ目は、西本さんの番。ビレイしている私から見ていると、真上のコーナーに行く様に見えるのだが、どんどん離れていく。西本さんの動きを見ていると、どうも4級には見えないので、悪いが1度降りてもらって後続のパーティーに先に行ってもらおう。こんなズル作戦をして残り4ピッチを登り終える。核心部で無理やり降ろされた事を西本さんは、どう思っているのだろうか。

7月12日(土)

Puntadelle Cinque Dita 2996m Via normale
3級 380m 11ピッチ

登攀の最終日さてどこへ行こうかと考える。水曜日に行ったカチナチオ方面もいいが、バスを使って、そして歩いて登れなかったら、もったいないしと貧乏症などもでて、結局いつもセラ峠から眺めてばかり

のサッソルンゴグループのまん中の山に行くことにした。ここなら、途中で天気が崩れても懸垂で降りればいいという計算もあった。

セラ峠から少し下った所に車を置き、トニーデメッツ小屋への道をたどる。久しぶりに朝から天気が良い。でも天気予報では午後から崩れるので、油断がならない。アプローチの脇には、人が立って乗るゴンドラがあるが、まだ朝が早いので止まっている。駐車場から1時間程でルートを取付近く小屋に着く。カプチーノで水分補給。その頃にはゴンドラが動きだし、続々と登山者が上がってくる。我々は3番目になる。3級のピッチが続くので、気楽に考えていたが、1ピッチ目から壁は立っていて、プロテクションは25mで、途中で1箇所なので、体に変な力が入る。途中ザイルを巻いて歩きをいれながら最終ピッチに来た頃には、頭上は暗くなり、霰が降ってくる。しばらくすると止み頂上へ向かう。下降はクライムダウンと懸垂をまじえ10ピッチ程。又小屋でカプチーノで体を温める。小屋からは来た道を、西本さんは順調に、私は今年のドロミテも無事終わった

と、のんびり写真を撮りながら下ったので、西本さんが見えなくなるまで離れてしまう。アパートに帰っても特に大宴会もする事もなく、いつもの様にビールとワインを飲みながらの夕食。

7月13日(日)

カナツエイからベローナへ移動。レンタカーを返却し、ほっと一安心。久しぶりの外食。ピザと海鮮サラダ。

7月14日(月)

ベローナからローマまで国内線、乗り換え成田まで免税店で買ったワインを飲みながら13時間。

登攀を終えて

昨年のドロミテの経験から、フリーの岩場に行くことが多かった。今回は傾斜の有るところで少ないプロテクションで登る事は、昨年より進歩したといえるが、ルートを見る目は、まだまだと感じた。

Primula 96

小川山フリークライミング、3回まとめて

・・・佐藤 正俊



ネオ新人さんいらっしやい



阿行小(あなこ)

日時:

- 1)2014年8月23日～24日
- 2)2014年9月13日～14日
- 3)2014年10月4日

山域:甲信 / メンバー:平、小田、佐藤

行程 1)

- 8月23日: 太刀岡山、
24日: 屋根岩 4 峰 (平、小田、佐藤)

行程 2)

- 9月13日: 兄岩
14日: リバーサイド (小田、佐藤)

行程 3)

- 10月4日: ソラマメスラブ、
おむすび山スラブ (平、小田、佐藤)

今年は5月に2回、7月に1回と今回報告する3回をあわせて計6回、小川山を訪れた。結論から言うと中々レベルが上がらず、行く先々

で新たな宿題が増えるばかり。それなりに場馴れしたが、最低でも11クラスのルートを一、二本レッドポイントしたかった(泣)。

1. 太刀岡山、小川山屋根岩 4 峰 (8月23～24日)

前夜20時半に新宿駅の地下ターミナルを出発し23時に廻り目平駐車場に着いてテント設営。翌23日は朝一番で小川山レイバックに行くが残念ながらガイド連れの大人数に先を越され、天候も怪しいので太刀岡山に止む無く転進する。

10時半頃、太刀岡山に着き、登攀開始。5.9～10a/bのルートを5本登り、16時で終了。登り甲斐のある、ネオ新人さんいらっしやい

(10b) では平ちゃんが特筆ものの奮戦。当の平ちゃんはどうしても家庭の事情(共同清掃?)で帰るとの事でJR 竜王駅に送り届け、小田、佐藤は焼肉ふじもとで夕食を済ませる。帰路は真っ暗闇の廻り目平を幽霊のように歩く水野さんに遭遇し肝を冷やす。そう言えばネコ缶の代金まだですヨ!!

翌日 24日は小田、佐藤の2人で屋根岩4峰ノイズイノをオンサイトし、コミネッチフェイスなど計5本を登って帰宅の途に。ノイズイノは中々素晴らしいダイクでした。

23日 太刀岡山

新人さんいらっしゃい5.9:mリード○(再登)
 阿行小(あなこ)10a:mリード○(再登)
 ネオ新人さんいらっしゃい10b:mOS(楽しい♪)
 これでもか10a/b:mOS
 クンクン10a/b:mOS(コケと蟻だらけが玉にキズ)

24日 屋根岩4峰

トキオ'83 10a(1p目):mOS
 ノイズイノ★★★10b:mOS(楽しい♪)
 柴犬みね10b:1回目×、2回目RP
 中ルート5.9:mOS(新ルートらしい)
 左ルート10a:mOS(同上)

**2. 小川山兄岩、リバーサイド
 (9月13～14日)**

今回の小川山、第2弾は小田、佐藤で久しぶりの好天に恵まれての兄岩とリバーサイド。実は13日はリバーバンクへ行くつもりが道に迷って兄岩に到着??不幸中の幸いで人気ルートのピクニクラ、三日月のピンクリップをオンサ



ノイズイノ

イトして大満足。特に三ツ星ルートのピクニクラはナチプロながら超楽しいルート♪♪。ドスラブのタジヤンIVは佐藤が上部をそのままリードして大フォール。上部の直登は通常はトップロープで行くらしい。グダイマイト(10c)はリキの要るフェイスクライミングが楽しめます。

翌日の14日はリバーサイド。途中遭遇した白井グループは湿り気を嫌って兄岩に転進したが、我々はそのまま残留。今日は小田ちゃんがアウトオブバランス(5.9)で文字通りバランスを崩して逆さ落とし!!(今更ながらハーネスとロープの結び目チェックの重要性を再認識)。ブラックシープはナチプロ2ヶ所で変化が有って楽しいルート。リバーサイド上部は陽当りが良くDOKUHU(11a)はリードとトップロープで3回チャレンジ。最後はノーテンション出来たので次回は必ずレッドポイントしたい!!

13日 兄岩

ピクニクラ★★★10b(NP):mOS(超楽しい♪♪)
 タジヤンIV★★★10a:mリード大墜落(小田ちゃん有難う)
 三日月のピンクリップ★★★10b:mOS(結構怖いル

ート)
グダイマイト10c:mOS(カチのフェイス)

14日 リバーサイド

アウトオブバランス5.9:mOS(多少湿っていた)
ブラックシープ★★★5.9+(NP):mOS(楽しい♪)
DOKUHU★11a:1回目×、2回目1テン、3回目0テン

3. ソラマメスラブ、おむすび山スラブ (10月4日)

小川山の第3弾は平、小田、佐藤のフルメンバーで焼肉を楽しむ会となるが、5日は予報どおり雨となり、無念のベースキャンプ転進となってしまいました。

4日は朝出で午前8時に廻り目平に着き8時半には一番乗りでソラマメスラブに到着。今日こそ人気ルート総なめと意気込んでいる矢先、10名以上のガイド連れグループが場所取りを始める。なんとご無体な(涙)...

取敢えず人気ルートの生木、三色、甘食を3

人で楽しく登らせてもらい、おむすび山スラブへ転進。先行2人組は居るが、ほぼ独占状態で人気ルートを登攀。無名ルート(10a)をリードしトップロープをセットすると心おきなくラベンダー(10a)、リメンブランクス(10c)を登る。初おろしのテストロッサも直ぐ足に馴染む。いい靴は本当に履きやすい。こんな事ならリメンブランクスもオンサイトチャレンジすれば良かったと思いつつ定番となった焼肉ふじもとで3人で至福の夕食を堪能し、今シーズンの小川山は幕を閉じた。

4日 ソラマメスラブ

生木が倒れたよ5.9:mOS
三色すみれ★10a:mOS(楽しい♪)
甘食★10b:mOS(ムーブが判れば簡単!!)

おむすび山スラブ

無名ルート★★★10a:mOS(楽しい♪)
ラベンダー★★★10a:トップロープ○(楽しい♪)
リメンブランクス★★★10c:トップロープ○(楽しい♪)

Primula 96

秋のハイキング

・・・たいら まり



八海山は危険な場所



随所にある鎖場



長い鎖は腕力で

乗り換え六日町駅につくと晴れ上がっていた。期待して八海山スキー場行きのバスに乗る。スキー場からロープウェイで山頂駅に下り立つと観光客でごった返していた。大勢の人とともに泥濘の登山道をゆく。女人堂を越え、千本檜小屋にはあっさりついた。

エアリアのコースタイムによると山頂から八ツ峰を往復してロープウェイに戻ってくるのにかかる時間は、8時間ほど。できれば八ツ峰まで行きたいが、最後のバスに間に合うように、時間によっては引き返すつもり。ここまでの所要時間短縮気味の調子なら八ツ峰まで行けそうだ。

地藏岳に始まり八つの峰にはすべて名前がついている。でもわかったりわからなかったり。鎖の上り下りで、特に長い下りは腕力を使って結構、緊張する。

やはりコースタイムほどはかからずに、八ツ峰を越え、入道岳についた。

帰りは迂回路を利用して、樹林帯の梯子下り。岩場歩きより断然早く、千本檜小屋へ戻る。ここからが大渋滞。中学生らしい一団が行列。渋滞のもとは、長い鎖場の下り。たっぷり待って下り、時には追い

日程：2014年9月7日

山域：上越・八海山

メンバー：平、他1

コースタイム：09:20ロープウェイ山頂～10:00女人堂～10:50千本檜小屋～12:00大日岳～12:30入道岳～迂回路～14:00千本檜小屋～15:30ロープウェイ山頂

去年は雨のため行けなかった八海山。岩っぽいところが魅力で、改めて計画を立てた。

天気予報では上越は晴れる予定だったが、傘をさして家を出るようで気分は大いに盛り下がる。

新幹線で大宮から越後湯沢へはすぐ。上越線に

越しをかけて、ロープウェイにたどり着き、バス停に着いてみると、バスは出たばかり。時間を惜しんでタクシーを使い、六日町の駅に近い「湯らりあ」でおろしてもらった。

汗を流して六日町から越後湯沢に戻ると新幹線

であつという間に大宮。夏はずっと雨続きで、久しぶりの快晴ハイクは、観光客になりきって楽しめた。そして観光客らしくお金も贅沢に使ったのだつた。



湖畔の景色



お決まりの山頂写真

日程：2014年9月28日

山域：日光・日光白根山

メンバー：平、他1

コースタイム：06:30菅沼駐車場～08:30弥陀ヶ池～
09:30白根山山頂～11:30五色沼～12:20五色山～13:30
金精峠～14:00菅沼駐車場

紅葉の時期を狙って日光白根山。久しぶりの山歩き、日帰りということもあって菅沼登山口から山頂を経て、金精峠から戻ることにした。丸沼高原から行くのに次いで時間が短くて済む。

登りだしは岩まじりではあるものの段差の少ない良い道。ひと歩きして弥陀ヶ池の畔でのんびり休憩。こんなことならガスでも持ってくるのだった。その先は、樹林が切れ、草と岩混じりの急坂を登る。眼下の弥陀ヶ池が小さくなる。山頂直下はぐっと傾斜が増して息が切れる。山頂に着くと、ゴンドラから上がってきた登山者も群がり、人の山。座る場所を見つけてお昼休憩。

五色沼も見物したいというので、避難小屋まで一



紅葉の片鱗

気に下る。またもや池を前にふんだんに休み、五色山まで登り返す。無駄に登っている感じがする。前白根からの稜線にぶつかり、五色沼を見下ろすと紅葉が映えている。

樹林帯を金精峠へ。足場がよくない箇所もままあるが、このあたりが今回いちばん紅葉していた。金精峠からは、木の根をまたぎながら、駐車場へ戻る。帰りは湯元の温泉に浸かり、まだ青々としたいろは坂を通過して帰った。

Primula 96

子連れハイク (3歳)

・・・市瀬 江利子

早いもので子供も3歳になりました。そこで、今回、妹の自宅から西武線沿いに初めて電車で山に行ってみることにしました。電車の中で少し長い間おとなしくしていただけるようになったのではないかと期待を込めて行ったのですが、まあ、ギリギリセーフだった

かなという感じです。行き先は西武線沿線の天覚山です。しかし、下調べが足らず、地図を見て一時間程度で登れそうなところを適当に選んでしまった為に、かなり苦労することになってしまいました。

2014年9月13日 天覚山(445m) 奥武蔵・秩父 子連れハイク No.22

メンバー:市瀬、他3

コースタイム:東吾野駅(12:10) ---天覚山(14:45-15:15) ---東峠(16:00) ---東吾野駅(17:00)

お昼近くに出発し、東吾野ののどかな駅についた



駅を出発! まだまだ元気!

のは、既に12時過ぎ。ここから線路沿いに少し戻り、踏切を渡って、登山口へと向かいます。車道から外れて、民家を登っていくと、砂利の登山道が始まります。

最初のうちは登山道っぽいのですが、そのうちに草が生い茂って踏み跡がよく見えなくなってきました。そして、途中から尾根通しと沢通しの道に分かれますが、尾根通しは地図上に破線で記載されていたため、私たちは沢通しを進むことにしました。これが間違いだったのかはわかりませんが、どちらの道を選ぶにしろ草が生い茂っていてあまり道らしくありません。

バッタなどの虫が飛び交う中を登っていくと、ようやく長尾坂配水場につきました。ここの脇には普通に車道が上がってきているため、こちらから登ったほうが良かったのでは?という気になります。

ここで大休止をし、いざ登山道を登ろうとしますが、はっきりいって草が生い茂っていてどこが登山道だかよくわかりません。案内通りにあまり入りたくない感じの、茂みに入っていくと、草の生い茂ったじめじめとした、踏み跡が続きます。倒木などもあり、歩き辛く、時間がかかります。また、稜線にでる最後はかなり急



頂上からの眺め

なジグザグ道で疲労が増します。

そして、やっと稜線に出たのですが、私たちは山頂を捲く様な形で頂上に向かってしまい、ここには蜘蛛の巣もいっぱいあった為、最後の最後でかなりうんざりしました。どうやら稜線から直接山頂に行く道もあったみたいです。

そんなこんなで、疲労困憊して頂上につき、やっと妹が作ってくれたお弁当にありつけたのはもう3時近くでした。子供はというと、沢通しの登山道は自力で歩くには、足場が悪く、また途中から寝てしまった為、



やっとお弁当です。子供は背負子でぐっすり。ずっと抱っこ状態で運びました。

帰りは、往路を戻りたくない一心から、天覧山方面から続く縦走路沿いに東峠へと降りることに。この道はさすがに手入れがされていて、心配することなく歩きました。ここからは夕方の車道を駅に向かってのんびりと歩きます。行きに比べると、あつという間についたイメージです。そして、下りの途中で子供は起き出し、そこから駅までは歩いて下ることができました。

子連れハイクでも大事なことは、やはり事前の下調べだということを、再度痛感しました。このルートは、下草の無くなる、秋以降がお勧めのようです。

2014年10月4日 雁ヶ腹摺山 (1,874 m) 子連れハイク No.23

メンバー:北原、市瀬、他1

コースタイム:大峠(11:20)---雁ヶ腹摺山(13:00-14:40)---登山口(14:30)

天気が悪い方へ向かっていたため、最後の最後までで迷いましたが、初志貫徹で雁ヶ腹摺山へと向かうことにしました。大月ICを降りると、やはり山の上はどんより。しかし、大峠に近づくにつれ、空が明るくなってきます。これはひよっとしていけるかも?と少しの期待を持ちつつ、大峠に到着。ここには駐車

場もあり、簡易ですがトイレもあります。

さて、準備をして出発です。登り始めてすぐに行くつか木の橋があり、おっかなびっくり子供を渡らせます。そこをすぎるといくつか岩場的なところもあり、何か所か急な個所もあります。ここは北原さんに上でひっぱりあげてもらったりして、大人が2人いないと厳しい感じでした。そこから上の頂上までは、いい感じの樹林帯が続き、頂上直下は草原のようにスキが生い茂っていてこれまたいい感じなのですが、残念なのは、やはり視界がなかったことです。500



最初の小さい橋。
この後もっと高いのが出てきます



すすきは背中
避けて通ることを覚えました



気持ちのいい樹林帯



頂上直下のスキ野原



頂上です！



アンパンマングミをご褒美に、
ここまで登りました

円札にも描かれた富士山が見えるはずが、やっぱり今回は見えませんでした。

そして、頂上でお弁当の後、下りです。子供は最近下りが大得意で、転がるように降りて行きま

す。腕を引っ張られる大人が転びそうです。どんどん、下って駐車場に着く直前に雨がぽつぽつと降り始めました。しっとりとした、静かな山行でしたが、雨の中のハイクも子供は楽しかったみたいです。

Primula 96

今年の沢のまとめ ～もう冬だと言うのに～

・・・初鹿 裕康

－秩父・大洞川樽ノ沢～荒沢谷狼谷下降－

日程：2014年7月26～28日

メンバー：小堀、初鹿

大洞川林道のゲートまで車で入る。ここから長い林道を歩くが、我慢しきれず本来降りるはずの場所より手前を降りてしまった。結構急で大変だった。

途中まで大洞川本流（井戸沢）を遡行。

昔水野と井戸沢に来たときは、大高巻きをしたが今回は水線通しに行く。残置ロープがないと結構きつい所もあり、かなりシビアだった。（以下略）

－尾瀬・中ノ俣沢北俣沢～ブナ沢下降－ 笠科川タル沢ワル沢～井戸沢下降－

日程：2014年9月13日～15日

メンバー：初鹿、北原、栗原（杉並山の会）、楠井

【コースタイム】

9/13 晴 大清水(8:57)－北岐沢(10:41)(11:21)－20m

二俣(12:13)－二俣上(12:47)－B.P(13:35)

9/14 晴 (8:44)－湿原(11:16)－稜線(11:44)(11:59)－

下降点(12:28)－林道(14:19)－大清水(16:34)

9/15 曇時々晴 井戸沢入口(6:52)－入渓点(7:07)－ワ

ル沢(8:19)－右俣(8:52)－稜線(11:23)－下降点(11:47)

－二俣(12:30)－林道(13:56)

大清水の駐車場泊。今は実験的に大清水から一ノ瀬まで無料バスが出ている。鳩待峠への登山者の集中を避けるためらしい（まあ、今日は関係ないけど）。駐車場から奥鬼怒へ向かっている林道をとぼとぼと歩いて行く。鹿よけの柵が林道の脇にずっと張り巡らされている。我々が来たのにびっくりしたらしく、途中、鹿が鹿よけの柵の網に引っかかってもがいている、があまりにも暴れていてどうにもならないので、可哀想だけどスルー。林道が大きく回り込

む所から入渓。核心?の15mの滝もちょっと戻って巻けば、なんてことなく巻けてしまう。巻道から見る右岸から入ってくる滝は結構大きい。左から小さな滝が流れている所に立派なテン場。かなりゆっくり登ってきたつもりだったが意外と早く着いてしまった。今日は入渓してから魚影が全く見えてないので期待は出来ないが釣りに出かける。こちらから何も指示しなくても、山慣れしているおじさんたちは、釣りに行っている間に勝手に仕事を探して行動してくれているので、一緒に行って気楽でいい。今夜は焚き火を囲んで宴会だ。

翌日も何となく沢を詰めて行くと、湿原に出た。小松湿原は時期的にはもうあまり花もなくちょっと寂しかった。ここから踏み跡をたどって稜線へ。何パーティーか登山者とすれ違いながら、ブナ沢下降点に向かって歩いて行く。2069mのピークを越えて最低鞍部あたりから藪を漕いで行くと沢形が出てくる。



元気なおじさんたち

結構なナメを木につかまりながら下降して行くと人工物が見えて林道に出た。ここから林道を下って行くと途中の沢で楠井さんと栗原さんが橋の下に大きな魚がいると言う。僕には良く見えなかったが釣竿を出すことにしてしばし釣りタイム。しかし全くかかりもしない。30分ほどすると楠井さんが「なんだ石か」だって。そりゃ釣れない。時間の無駄だった(— —)!! 昨日鹿がいた所は何も無く、逃げたのか、誰かに持っていかれたのか?長い林道歩きを終わって大清水へ。車で移動し戸倉で酒買って、井戸沢方面に。

井戸沢の出合近くのダムの所に、絶好の駐車場とテン場。道の脇だけどもあまり車も通らないし、良いテン場だった。

翌日は、ほぼ空荷で林道をスリバナ沢出合へ。途中からタル沢、ワル沢。ザイルを出すことなく淡々と登って行く。二股で休憩直後、北原さんが眼鏡を藪に飛ばされたと言う。全員で戻って探してみるが見つからない。「僕的眼鏡貸そうか」と栗原氏。眼鏡ってそういうもんじゃないでしょうかと思うが、北原さんは借りた眼鏡を掛けている(— —)!!楠井さんが藪の中で発見し事なきを得たが、メガネ止めもしくは替え眼鏡は持って行ったほうがいいね。途中の分岐で先行パーティに追いつく。結構迷うが、先行パーティと別の方角(右手の沢)に向かう。最後は30分ほどの藪漕ぎ。稜線上は至仏のメインルートのため、結構な人、人、人だった。登山道を下り、水場の導水管がある所から下降すると結構すぐに沢形となる。途中右側ががさがさすると思ったら先行していたパーティだった。ナメ沢を下って行くと最後に魚影を初めて見かけた。

—奥多摩・長沢谷日影谷—

日程:2014年9月20日～21日

メンバー:初鹿、山里

【コースタイム】

9/20 曇 東原(10:06)－八丁橋(11:03)－出合(12:41)(13:17)－二俣B.P(15:01)

9/21 曇後晴 土樽(7:12)－延吉地獄(7:51)－13m上(9:39)－二俣(10:14)－稜線(11:48)－芋ノ木ドッケ(12:11)－霧藻ヶ峰(13:49)(14:00)－三峰神社(15:14)

またまたやってきました長沢谷。前回2回は天気が悪く、テン場も増水を避けて高台のしょぼい場所で、暗いイメージ。今回は天気はいい予定。前日に山ちゃんが「明日は降水確率50%だって」と、「行

きたくないモード」メールを送ってくるが、とても最新の情報ではないので無視。今や携帯でもなんでも、最新の天気調べられるでしょうに。この時点で降水確率20%くらいに変わっている。この秋雨の時期は朝刊の天気予報じゃ遅すぎる(山ちゃん、宝くじ当選番号詐欺に、だまされるよ)。

とりあえず、いつものように大ダワに向かう登山道を長沢谷に下る。なんか、前に踏み跡があるので、先行がいるのか?テン場が空いてないと嫌だな。いつも腰まで浸かって越えなければならない所は左側から高巻き。ここはいつ来ても、多少いやらしい。ちょっとザイルが欲しいくらいだ。夏なら水中



パエリア

がお勧め。途中で大きな魚影を見る。釣竿を出したい所だったが、我慢して登って行くと二股に出る。

テン場は空いていた。早速テントを張って夕餉の準備。しばらくすると桂谷から先行パーティが下ってきて、そのまま帰って行った。釣り屋でも沢屋でもなさそうな…。軽く釣りに行くが、仕掛けがいまいちだったので、もたついてイライラする。なんとか、釣り始めると魚影が見れた気が…。しばらくすると今シーズン初めての当たり&釣果となる。ちょっと嬉

しい。テン場に戻って、焚き火の手伝い。今回はパエリアを作ってみました。宴会して終了。明日は日影谷に向かう。

翌日。朝、ごみを燃やししながら、焚き火をしていると、山ちゃんに「朝って焚き火すぐ点くんだね」と感心される。これって熾火があるから常識では、と思うが、どうやら山ちゃんの中では記憶がリセットされてしまうらしい ((+_+))

途中の二股で二軒尾根に上がりそうになったりしたが、ちゃんと地図で確認して何とか稜線へ。時間も時間なので稜線上では、雲取山へ向かう人たちと数人すれ違った程度。三峰神社の風呂に入って西武秩父行の直通バスで帰ったのでした。

沢登りは遡行図である程度予測が出来るが、やはり現地に行ってみないと、どうなっているかわからない。こう言うドキドキ感ワクワク感がたまりません。沢は本当に毎年ルートが変わってしまうと言っても過言ではない位、自然というのは激しい。だから、楽しいのかもしれない。



Primula 96

甲斐駒ヶ岳・中央稜

・・・佐藤 正俊



甲斐駒ヶ岳、中央稜

日時：2014年9月27日(土)～28日(日)

山域：南アルプス

メンバー：小堀、佐藤

行程：

26日 21時(善福寺発、佐藤車)～竹宇神社駐車場、仮眠

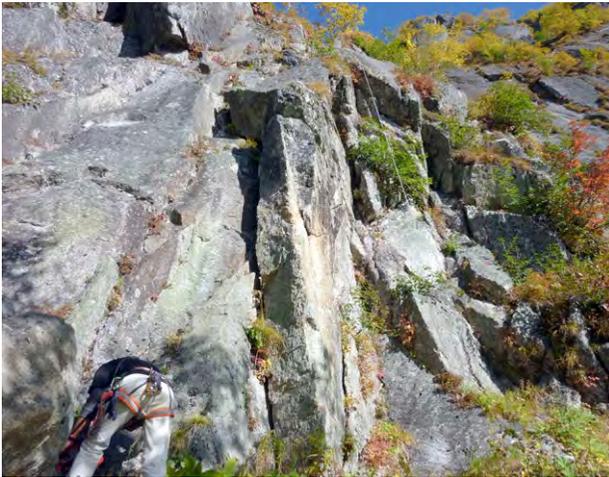
27日 竹宇神社～7丈小屋～8丈ビバークサイト、昼寝
のちビバーク

28日 8丈～中央稜の取付き～稜線～8丈～竹宇神社～
帰京

1.8丈のビバークサイトまで(26～27日)

これまで10月に1回、3月に1回、降雨と大雪のために敗退した中央稜に、小堀さんと3回目の挑戦をする事とした。

前夜、小堀さんをピックアップし、一路、通い慣れた竹宇神社に向かう。これまで黄蓮谷と中央稜の敗退を繰返しており、数えきれない程このルートに



中央稜の取付き



稜線手前のトラバース



8丈の稜線付近

通っている。新車レボークは快調で気を付けないとすぐスピードが出過ぎてしまう。バックシートもフルフラットになるので、仮眠もすこぶる快適と小堀さんからお褒めの言葉を頂く。

翌朝は6時半に出発。天気も良く昼過ぎに7丈小屋に到着し、13時半に8丈に到着。昼食を済ませツェルトを張り、ポカポカ陽気の下、至福の昼寝の午後を過ごす。登山者はツェルトにまるで奇異な物を見る様な目を向けて通り過ぎて行く。

夕刻が近づくと冷気が増し夕食を摂り上下の羽毛服を着込みシュラフカバーに潜り込む。無風のお蔭で地上とツェルトの間の隙間風は気にならないが、

流石にシュラフ無しではこの季節の黒戸尾根稜線上の冷え込みは厳しかった。

2. 中央稜の登攀（28日）

翌朝は5時に起床し、5時半に出発する。冷え切った体に陽の光が待ち遠しい。見覚えのある取付きに到着すると残置のロープが垂れ下がっている。

お天気も良く7時半に佐藤がリードで登攀を開始する。残置ピンが少なく1ピッチ目の登り口と3ピッチ目の垂壁及びクラックが多少悪いが、後は草付きの踏み跡をトラバース気味に辿って行く。右壁の岩場が近づいてくると稜線も間近となり、稜線に出る最後の岩場を4級位のクライミングで登り切って登攀は終了となる。

所要時間は約4時間。風が無いので今日も陽が出ているととても暖かい。稜線からは昨日の噴火で大惨事を生じた御嶽山が、真っ白い噴煙を上げているのが良く見える。

昼過ぎに8丈のビバークサイト、長い下りを経て16時に竹宇神社に着く。武川の湯で登山疲れを癒し、渋滞を避け秋山街道経由で帰京する。今回は冬の中央稜。いやが上にも意欲が高まる。冬場のルートを想定し、早速準備に取り掛かろう。

Primula 96

マイナールートは楽しいニャン = ^ _ ^ = その 7 ～信州・男山、男山ダイレクトの巻～ . . . 初鹿 裕康

日程：2014年10月12日



こんなところで

メンバー：小堀、初鹿

【コースタイム】

10/12 晴 登山口(8:34) - 取付(10:10)(10:21) - 第3岩壁(11:05) - 男山(12:25)(12:48)
- 林道(13:07) - 登山口(14:03)

ここの所 2 回位計画したが、天気の関係で断念。

前回天狗山に転進した時に取付の確認をしておいたので、町営住宅の所の路肩に車を止めて出発。登山口のイノシシ除けの扉が開いていたので先行がいるのかな？しばらく結構急な林道を歩いて行くと上から四駆が降りてきた。林業関係者かな??

トポには「山火事注意の看板のちょっと先で二股を左に」とあるが、探してしまった。二股の所が丁度草ぼうぼうになっていて、ちょっと入って行かないと林道だとは分からなかった。二股を左に入っていくと沢にぶつかるので、沢を渡って対岸の急登を登る。あんまり右に行かないように登って行くとワイヤーが出てくる。ワイヤー沿いにしばらく行くと平坦地。ここから左に向かって踏み跡をたどって行くと隣の稜線に出る。ちょっと登ると岩場にはぶつかるが、ここは右から巻く。この上が取付。

第1岩稜小堀先行で20m。ブッシュで確保。2P目初鹿。なんてことのない岩場を木でランニングをとりながら20m。3P目小堀。小堀先行で左側から登って行くが残置がない模様。ちょっと上部で半分しか入っていないピンでランニングビレー。流れが悪いらしく、その上のブッシュで切る。私がセカンドで右から登って行くと、小堀さんがランニングを取った2m位下に残置ピンがあった。4P目初鹿。途中、木にザイルが残置として巻いてあった。最後の岩場の手前はちょっと下る感じで第3岩峰へ、20m。



終了点

5p 目小堀。ここのピンが1本。結構もろい岩場を確かめながら登る。4級かな。終了点からは歩いて行けそうだが、両端が切れ落ちているので、ザイル

おまけ - 佐久・大原平改め五郎山 -

日程：2014年11月5日

メンバー：初鹿、楠井(ゲスト)

【コースタイム】

11/5 晴時々変 駐車地点(11:07)－登山口(11:38)－P1(12:35)－五郎山(13:05)(13:34)－P1(14:05)－登山口(14:43)－駐車地点(15:10)

佐久の大原平に行く予定だったが、カーナビなし、道路地図なしの車で行ったため、取付に迷ってしまう。地元の人に聞いてもマイナーすぎてわからないらしい。何となくこの辺だろうと思う所の林道は、上から農作業のおじさんが降りてきて「この先行き止まりだよ」と言う。行き止まりでいいんだけど何となく強引に入り辛く、しかも時間が押しているので、近くの五郎山に転進。

町田自然休暇村の奥まで車で入り、林道を行ける

1本でアンザイレン。思ったよりあっさり頂上に着いた。

どっかのガイドが最近、開拓(整備)した、と書いてあったが整備したが正しいのかな。ビレー点として残置ロープが木に巻かれてあったのが整備したものなのかなあ?? たぶん色々な感じから結構昔から登られていたルートなんだろうとは思う。残置ロープが全てのピッチの終了点なのだろう。

このルートはバリバリのアルパインルートだなあ。西上州よりは、もろくないけど、そこそこもろかったり、落石しそうになったりするからね。景色は抜群!! こんな感じのクライミングはやっぱり楽しい。

所まで行く。登山口 30 分位手前の路肩に駐車。

登山口からは、いきなりかなりの急登が続く。途中大岩を避けながらの急登となる。岩をよじったりしながら、しばらく行くと P2 に到着。

ここからの景色は素晴らしい。天候が不順で時折、あられが舞ったり雨が舞ったり晴れてきたりする天候の中、頂上を見るがとても登るルートが見えない。FIX ロープがあったりする登山道をいったんコルまで下降して、また登り返す。岩場の基部を右に回り込みながら登って行き、頂稜を左に行くと山頂だった。ここの岩場に残置を探すけどちょっと見当たらない。

3 級程度の岩場が 1P 程で終わってしまうが、登ってみたら面白いかも。拾い物の山行だったが、いい山で楽しかった。

—第 11 回川越アクアスロン・エキデン ひとりで駅伝の部—



RUN5km。SWIM キャップをかぶったまま、帽子をかぶって走り出すが、途中で帽子が落ちてしまった。「おじさん帽子落としたよ」って言われるが、おじさんで無いので無視する。でも確かに私の帽子が落ちていた。5km 走って、靴とめがねをはずしてゴーグルつけて SWIM。今度は 1 周。多分みんなが泳いでいるので、多少流れるプールになっちゃってるのか泳ぎやすかった。2 周目のプールを上がったときに、「それは違反です」と上着を着て泳いでいることを言われる。でも 1 周目から着ているんですけど。「前回も言いました」って言われても前回出てないし。むかつくなあ。で、むかつきながら RUN。仕方がないので 3 周目は上着を脱いで SWIM。最後の RUN で、いつも SWIM で抜いて RUN で抜かれる選手に追いつこうと思うが、さすがに追いつけなかった。

9/7 第11回川越アクアスロン・エキデン
ひとりで駅伝の部

参加者25人

SWIM(0.5km)+RUN (5km)	32:21	11位
SWIM(0.25km)+RUN (2.5km)	17:18	8位
SWIM(0.5km)+RUN (5km)	33:15	11位
総合	1:22:54	10位

男子 9/19 人後 2 分早ければ 6 位入賞できたのに。

「ひとりで駅伝」。ちょっと面白そうなので参加してみた。しかし、名簿を見るとほとんど 30 歳代。50 代は私一人(; _ _)。駅伝チーム(3 人リレー)は皆さん楽しそうだけど、一人は寂しい。まずは楕円形の流れが止まっている流れるプールを 2 周 500m。足が着くので、立ち上がってイルカジャンプを繰り返している選手も…。その後陸に上がって

—第 22 回 サンライズイワタトライアスロン—

今年度最後のトライアスロンは、久しぶりに磐田のミドルレース。前回 2006 年は大雨だった。とりあえず予定としては SWIM2.0km40 分、BIKE70km2 時間 20 分、RUN20km1 時間 30 分、計 4 時間 30 分目標。今回はレース会場近くのオートキャンプ

場に車も無いのにテント泊まり。前日受付して美味しくそうな生ビールも飲まずに就寝。でも、朝の移動がほぼないので気楽。トイレもキャンプ場の空いているトイレが使えるし。海の近くののだが泳ぐのは河口の淡水(カヌーの練習場らしい)。スタート地点ま

— 第20回奥武蔵ウルトラマラソンなど —

で200mほど泳いで、スタートを待つ。スタートの合図で泳ぎだす。そんなにたいそうなバトルはないが、たまにムカつきながら泳ぐこと2周。ブイの近くをうまく泳げたからか、上がった時のタイムは37分台だった。トランジットまで走ってBIKE。ミドルなので靴下と手袋を着けてスタート。公道を2.5km走った後、スズキのテストコースに入る。6.5kmを10周。最初のうちは結構抜かれる。やばい。テストコースなのでいろいろな路面があり、走りやすいところを選んで走る。公道と違ってパンクをあまり心配しなくて済む。平均時速30.9km。そしてRUN。海沿いのコースを走るが、台風の影響で波がかなり高い。海でのSWIMだったらまず中止だったなあ。5kmで折り返しなのだが折り返しのずいぶん手前で、おばさん選手とすれ違う。げっ、早すぎじゃね。2周目の途中でブドウ糖の粉末を飲んで、ちょっと気力が戻ってくる。もしかすると本当に1時間30分で走れるかと思ったが、後半だいぶ落ち込んだかなあ。RUNは結局1時間45分。SWIM、BIKEの後での1km5分15秒は頑張ったのか頑張れなかったのか、微妙だよな。

レース速報を見たら、おばさんは周回ミスだったらしい。どーりで速いと思った。ちなみに僕の前にゴールした女子選手は2人でした。

抽選会に参加するが景品が多く長い。前回は最後

— 第5回宇都宮トレイルラン —

始発に乗って新幹線と送迎バスで会場入り。久しぶりのトレランの大会。去年の奥武蔵ウルトラはあまりトレランばくなかったので、2011の成木の森トレイルラン以来か。受付をしたら、いきなり受付の人が宮塚英也(元プロトライアスリート。アジア人で初めてアイアンマンハワイでベスト10に入った。栃木在住)だったのにはびっくりした。まあ、いろいろなど

までいても何ももらえなかった。タクシーを呼んだ時間の5分前までいるが、当たりそうにない。体育館を出て歩き出したら511番のコール。走って戻ってメロンをゲットしました(*^_^*)。

9/28 第22回サンライズイワタトライアスロン

参加 313名

SWIM (2.0km) 37:17 116位

BIKE (70km) 2:18:12 136位 2:55:29 123位

RUN (20km) 1:44:57 65位

総合(92km) 4:40:26 91位 50歳代男子14/56

ミドルのレースで全体の1/3に入れたのはうれしい。BIKEも結構いい順位だし。このところ多少体重が減ってきていたので、RUNも結構気持ちよく走れた。レース後体重を量ったら久しぶりに70Kg切っていてびっくり。まあ、この体重のまままで次の大会まで持てばいいけど…。

前回参加したときに比べて人数が3倍くらいになっていた。8年前は、61/113で1/2にも入ってなかったけれど、今回は1/3以内に入れてたのでさらにうれしい。タイムも20分位速く走れたし。ランだけでも5分速かった。メロンももらったし。楽しかった。

ころでよく見かけるのだけど。

結構な参加者の割にはトイレの数も少ないが、何とかその辺はクリアしてILの水とブドウ糖の粉末とゼリーを背負って、前の方で水野と一緒に並ぶ。前回のリザルトを見たら3時間で真ん中くらいの順位だったので、その辺を目指す。スタートから2km程は車道。ここで、周りの選手をふるい落として、山



道の渋滞を避ける感じのコースだ。山道に入り一度車道に出て、再び山道になると早速登りが続き、すでに走るどころではない。登りは階段登りになり、結構息が上がる。イヤーこの辺が辛いところ。心臓バクバク。結構な時間をかけて登り、稜線をちょっと走ると古賀志山の山頂、ここから下り。結構岩まじりのやばい道を皆さん駆け下りていく。途中で足を挫いて痛がっている選手を抜き去る。林道っぽい所は大きな石がごろごろしていて、踏み跡を探しながら走る感じなのだが、ゲ

ルフジ(アシックスのトレランシューズ)は結構柔らかいのでこういう場所は走りにくい。思わず「おんたけ100km」を思い出してしまった。あの100kmすべて岩交じりの林道は辛かった(日本一辛い100kmだと思う)。結構な人数に抜かれながら、何とか車道へ出て、今度は何人か抜く。折り返し車道の登り。歩きたいところだが、ここで踏ん張って走る。山道に入ってさらに急な登りとなり頂上が近いかなと思った所が10km地点だった。さらに岩まじりの山道を登って行き、最高地点に到着。後ろにいた女子選手に「今7位だよ」とお声がかかる。やべつ、遅いかな。ここから下りになるがロープが張ってある所もあり、やはり、なかなか走れる感じではない。しば

らく行くとやっと普通の登山道になるが、幅が狭い。残り2km位になると会場の声が聞こえてくる。たまに前後の人が見えなくなってしまうと、本当に道が合っているのかと心細くなる。最後車道に出ると、やっと走りやすくなるが登り。何とか頑張って前の選手を何人か抜き去り、一杯やっと走ってゴールした。

今回は久しぶりのトレランだったが道幅が狭いので、抜くのもなかなか抜けず、走る所もなかなか速く走れず、一生懸命走ってないなあと言う感じだった。トレランとしては結構サバイバルって感じのコースだったかな。普段走するようなコースではないよね。

帰りは宇都宮駅前の「みんな」でリーズナブルに餃子で一杯。

11/3 宇都宮トレイルラン2014

ミドルの部17km

参加者371名

初鹿裕康 2:37:47 85位(年代別41歳から54歳の部38/135 男子の部80/337)

水野奈保美 3:10:16 245位(年代別41歳から54歳の部7/13 女子の部17/33)

カテゴリの切り方が40から54歳(—)!!。私がかもし55歳だったら3位入賞できたのになあ。水野なんか年代別優勝しちゃうぞ。

8月の福島(前号参照)のリザルトをよく見てみたら、73歳の選手が僕より前にゴールしていた。山ちゃんに言うところ「悔しかったでしょう」。いやいや、頑張ればあと20年はこの位の順位でレースに出れるってことじゃん。うれしいねえ。年齢を重ねて、いいタイムでレースを走れるほど、嬉しいことはないよね。持久力には伸び代があるのだ。もっと鍛えなきゃ。日本人が持っているマスターズの世界記録、5000m29:59.94、1km換算6分弱、90歳。凄いいねえ。

はっちゃんが流した PDF 見て即決。そろそろなん
か出たかったし 16 キロつつうしょぼさもちょうど良い。
トレラン系なら登り歩いても怒らないしね (誰に)
w。シューズも新調、トレラン用リュックに腕 cwx、
新幹線、と貧困層にはちょっと痛い出費も、なんだ
か楽しい。なら一回くらいは高尾山くらい行けよな〜。
結局いつも通りぶっつけ。まあ毎週末端壁へ行っ
たし (あんま意味ない?)。

過去の記録や元ランナー佐藤氏のアドバイスを
もとに、真ん中くらいの 3 時間くらいを目指す。つて時
計持ってないんで最後まで時間はわかんなかったけ
どw。せっかくとった GPS ログは間違っって消しちゃ
ったし (馬鹿)。

さて。予報は雨だったんだけど、現地はすっげー
いい天気! 青空・快晴、すっげー快適。はっちゃん
とスタート地点にいたら先頭集団に紛れ込んでしま
い、そのままスタート。いきなり歩くわけにもいかず、
邪魔にならない程度に走ることに。どんどん抜かれ
ながらダム湖を一周。ああ山道マダ〜? 山道に入
ると適当に渋滞しているので普通に登る。ああ、よ
かった。快適に歩きながら、いっこ山 (古賀志山)
を登って、いったん下ってまたロード。ここはキッパ
リと歩く。係のお兄さんが「がんばって〜」などと言
うので「山に入ったら走りまーす」と答える。この舗
装路が結構長くしかも登り。山道マダ〜? 苦労し
て山道で抜いた人達にどんどん抜かれる。

やっと再び山に入る。登ったり下ったり、景色がよ
かったり、すっげー下りだったり。後ろからランナー
が「あー」とかいつて転がって来たりするw。私もさ
すがにぶっつけなので、実は足つりまくり。道避け
て屈伸運動してる足がつってる風の人もいたけど (仲
間 ^^) でもあれやっても治らないからね ^^。つっ

ぱらかってても足を止めてはいけません。

下りはさすがのブシドー@スポルティバ! ブレなく
快適に飛ばせるわー。しかもすぐ前が女性で、下り
めっちゃ早い。釣られて勢い良く走る。あー気持ち
ええ〜。彼女もブシドー履いていた。「靴がおそろい
ですね〜」って声かけたら「え? あ。そうですね (ナ
ンダこの婆さん?)」

ところどころにいる係のおじさんやおばさん、出
場数が少ない女性の順位を数えていて「今女子で何
番!」とか教えてくれる。良かれと思ってやってるん
だろうけどちょっとやめて欲しい感じ。17 番くらいを
保っていたようだ。

ブシドーのお姉さんも見えなくなり、バラけてアロ
ーンになってきた。もう道はなだらかなのだが、踏
み跡が薄いとこもあり、ちょっとドキドキしたりしな
がら下っていくとスタートのダム湖畔の舗装路に出た。
でも、ダム遠くね? しかもゆるい登り。うぎゃー。ダ
ムに差し掛かると、ゴールして帰る人達とすれ違い「が
んばって〜」などと言われ、仕方なく走るが、いや
いやもう走れまへん〜! ダムの半分くらいで力尽きて
歩く。ゴールが見えたのでさすがに振り絞って走っ
た。やられた〜!!

なけなしのお小遣いはたいて買ったブシドーは、
その後はアプローチシューズとして活躍していますよ
(もったいないのでちびちびと)

今までで下り一番
快適。靴が走るんだ
よ! 靴。

あー楽しかった!



なほみさんのいつまでやってんだクライミング日記。

— 8/16 ~ 10/26 小川または瑞牆または天王岩 (他に行くところないのかよ?) — 水野 奈保美



遅い夏休み @ 廻り目キャンプ with にゃんこだよ~

8/18 (月) 朝出→昼くらいに廻り目着。さっと雨。

8/19 (火) 兄岩 森の緑に囲まれて (1)

がんばれくまさん○ 北条カンテ× 森の緑に囲まれて (以下森の緑) 11b ×××

- (1) 1本目プリクリして登ってみた3本目かけられず敗
- (2) 森さんが3本目までかけたので残り。できないのでステッククリップでなんとか終了点まで
- (3) 改めて各駅でごちゃごちゃ。

8/20 (水) 兄岩 森の緑 (2)

森の緑の右の無名ルート 10c/d TR × 森の緑 11bTR ○ リード×××

- (1) TR ノーテンひょっとしてこれは今日中に? ロープ抜いて次トライ
- (2) 最初で落ちた。上はできた。
- (3) 最初で落ちた。上でも落ちた。
- (4) また最初で落ちた。上はできた。ガク~

8/21 (木) かぶちゃん開拓部 師匠休み

かぶちゃんと開拓地へ。アプローチ2時間くらい。きれいな岩塔群のなかの、短いやさしそうなハンドクラック。意外と悪かったよ。懸垂ロープ回収で2回も登り返し。お疲れ様でした。

8/22 (金) 兄岩 森の緑 (3)

森の緑 (1) マスター: 上で落ちた 惜しいっつ。
(2) ようやく RP 都合 9 便
ムーンサルト 11a (1) プリクリでスタート、2本目までも行けず
(2) TR 出だしができないけどその他は大丈夫、苦手なボルムーブ。

8/23 (土) フェニックス上@かぶちゃん

佐藤小田平も来たが、天気予報が悪く、レイバックに行ったら20人もいたので敗。あとで聞くと佐藤小田平も先行できず太刀岡に転進したそう。私はかぶちゃんとマタタビの実をとりながらフェニックスへ。ここも大人数で

登っていたので、頂上の上の小クラックを登った。あとは、キャンプ場にもどって、スラック張りなおして遊んだ。夜戻ってくる佐藤小田にねこ缶を頼む。

8/24 (日) 仏岩 @ 0 山

佐藤小田が4峰へ行くというのでなんとかして混ざろうとしたが、結局いつもの巡礼となった。自分への不満MAX。もともと出来るわけがないバナナに進展などがあるわけもなく非常に荒んだころもちで楽しい夏休みの最終日を終えた。自業自得。

ノーリターン○バナナ××× (TR)

9/13 土 天王岩@お師匠

5.9 ~ 5.8 2本 ノーリー 10b ○

ノーリージョイ 11b ××××

9/14 日 瑞牆山十一面末端壁 @ 0 山

調和の幻想 1Pめ ○ T&T10d × 1 (TR) 春うらら 11b ○ (TR)

9/15 祝 瑞牆山十一面末端壁 @ 0 山

春 ○ × 1 (TR)

TRならノーテンになってきたので2本目はカムもってリハーサル。(例) TCU 青左ハンドでキャメ #0.5 (エイリアン黄) でガバ 棚に上がってキャメ #1 中に入ってキャメ #3 ちょっと上がってキャメ #0.75 エイリアン赤核心超えてエイリアン橙 その後はエイリアン緑 × 2 ~ キャメ #1 × 1 エイリアン黄 × 2 エイリアン青など適宜。

なほみさんのいつまでやってんだクライミング日記。

— 8/16 ~ 10/26 小川または瑞牆または天王岩 (他に行くところないのかよ?) — 水野 奈保美



9/20 土 瑞牆山十一面末端壁 @O山 T 井

調和 春× 寒すぎ 人多杉

9/21 日 天王岩 @お師匠

ノーリー○ノーリージョイ○× RP ★

ノーリージョイやと登れた〜しかも本日いちげき。しかももう一回Trでやれっつー。ちゃんと登れませんでしたよ！これでまた登ろうと思うでしょ (by お師匠)

9/23 瑞牆山十一面末端壁 @O山 うっち、ぶなチーム

調和 春× アストロドーム 11a ○ トワイライト 11c ×

今週も人多過ぎ。身内でトップロープ祭り。春の出だしができぬの

9/27 土 天王岩 @お師匠

涅槃の風 蟬しぐれ××○ (TR) ジョロウグモ×××←なんじゃこれ! 変なルートにハマった日。

10/4 土 天王岩 @お師匠

冥土の土産○ 八月革命×××

昼ごろ天王岩に到着。あんたもそろそろ八月やったらいいんじゃないかな (嬉) ってことで張ってもらって八月。キョン返し後の足イチの再考などやらなきゃいけないことがピンポイントで判明。あとは続けてトライすれば登れるようになると思うよ。長かった〜! ってまだ早い

10/11 土 天王岩 @お師匠

涅槃の風 10b ○ 蟬しぐれ 10b × クラックジョイ○ 八月 Tr × カイノ Tr × 八月 Tr ×

見慣れない若いお客さんで一杯。八月のぬん借りて張ってもらおう。下で失敗×。いったんガバンとこで仕切りなおしてから上部、今日もキョン返し成功しかも足使い成功してすんなりムーブできた。よしよし。と調子にのって久しぶりにカイノ触ってみたらまったく出来ずものすごくがっ

くり。こんな悪かったっけ? もう一回八月に張ってもらったけど回収さえできませんでしたよ!

10/12 日 瑞牆山十一面末端壁 @O山

色づいていてキレイだった。今日も人多杉w

調和 春 Tr × ○

春の出だしはおすすめムーブをいろいろ試すが一向にできないので、自然にできる形で行くことにケッテイ。手順が逆になったとしてもなんとかする、で行きますよ!

10/18 土 天王岩 @お師匠

午後から。下の岩 4本 八月 × 2

いつもどおりお師匠にぬんかけてもらって、今日はリードで。ガバまでは大分安定したよ! キョンからカチ、キョン返しもほぼ完成。キョン返し後、左足の置き場所を間違えさせなければ登れる実感を得たよん。キョン返し後の足は2コ上だよ!!

10/19 日 秋川某所 岩場のお掃除

10/25 土 瑞牆山十一面末端壁 @O山

調和 春 2本 tr 今日もごちゃごちゃ人多い。

10/26 日 天王岩 @お師匠 午後から

涅槃風、セミ×××、八月××

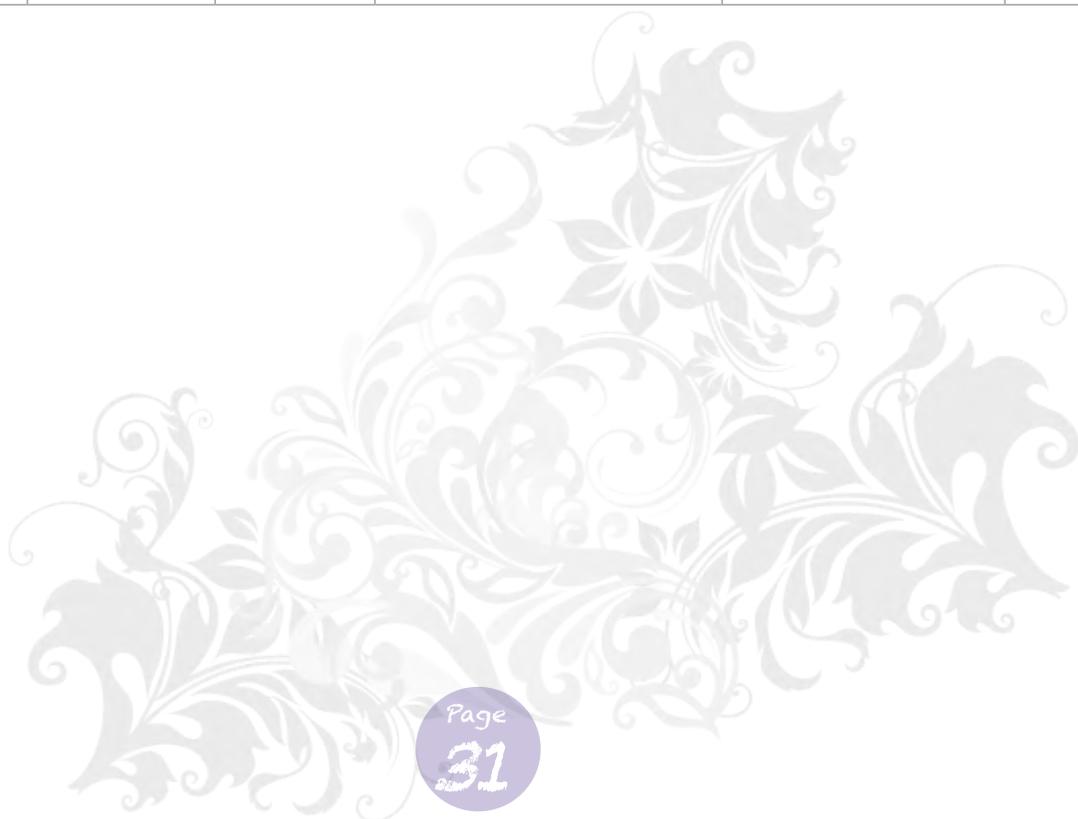
こっちもごちゃごちゃ人多い。見慣れた人達が楽しそうに登っている。16時近くおおかたの人が帰ってしまったころ、お師匠にぬんがけしてもらっていよいよ八月。しかし、すんごい湿気で1手めでつるりん。気をとりなおして数回だしたけど怖杉。今日登っちゃう気万万だったのにキーっ。しかしこんな湿気でもお師匠はちゃんと登れるんだよね。すげえす。ぬるっと出てきてしまう指先にさらに力を入れて抑えこむんだそうだ gkbr。長年通ってるけどあんな湿気ははじめてだわ。だからみんな早じまいだったのかなあ。

山行一覧(1) 2014年8月17日～10月9日

No.	山行日	山域	ルート	参加者	区分
3662	8月17日	丹沢	小川谷(退)	北原・他2	沢
3663	8/19～24	甲信	小川山	水野・他1	フリー
3664	8/23～24	甲信	太刀岡山/小川山	佐藤・小田・平	フリー
3665	8月20日	日光	小田代ヶ原	岡	写真撮影
3666	8月30日	甲信	天狗山	初鹿・小堀	ハイク
3667	9/3～4	北ア	爺ヶ岳	岡	写真撮影
3668	9月6日	奥多摩	大岳山	北原	トレラン
3669	9月7日	上越	八海山	平・他1	ハイク
3670	9月8日	東北	那須茶臼岳牛首往復・ススキ	岡	撮影
3671	9月13日	奥武蔵	天覚山	市瀬・他3	ハイク
3672	9月/13～15	上越	尾瀬・片品川中ノ又沢北ノ又沢 ～ブナ沢下降/笠科川タル沢～ 井戸沢下降	初鹿・北原・他	沢
3673	9月13日	奥多摩	天王岩	水野・西本	フリー
3674	9月13日	上越	谷川・一ノ倉沢	岡	撮影
3675	9月14日	甲信	三ツ峠	西本・桜井	フリー
3676	9/14～15	奥秩父	瑞牆山十一面末端壁	水野・他1	フリー
3677	9/13～14	甲信	小川山	佐藤・小田	フリー
3678	9月15日	奥多摩	天王岩	小堀・佐藤・他1	フリー
3679	9/20～21	奥多摩	長沢谷・日影谷	初鹿・山里	沢
3680	9月20日	奥秩父	瑞牆山十一面末端壁	水野・他1	フリー
3681	9月21日	甲信	三ツ峠	西本・桜井	フリー
3682	9月21日	奥多摩	天王岩	水野・他1	フリー
3683	9月22日	東北	那須・朝日岳	岡	写真撮影
3684	9月23日	日光	小田代ヶ原	岡	写真撮影
3685	9月23日	奥秩父	瑞牆山十一面末端壁	水野・他1	フリー
3686	9月27日	奥多摩	天王岩	水野・他1	フリー
3687	9/27～28	北ア	錫杖岳・左方カンテ/注文の多い料理店	西本・桜井	フリー
3688	9/27～28	南ア	甲斐駒赤石沢奥壁中央稜	小堀・佐藤	バリ
3689	9/27～29	東北/日光	安達太良山/那須・朝日岳/日光・ 小田代ヶ原	岡	写真撮影
3690	10月4日	奥秩父	小川山	佐藤・小田・平	フリー
3691	10月4日	奥多摩	天王岩	水野・他1	フリー
3692	10月4日	奥秩父	雁ヶ腹摺山	北原・市瀬・他1	ハイク
3693	10月7日	奥多摩	青梅丘陵	初鹿	トレラン
3694	10/7～9	南ア	仙丈ヶ岳～北沢峠	岡	写真撮影

山行一覧(2) 2014年10月9日～11月5日

No.	山行日	山域	ルート	参加者	区分
3695	10月9日	美ヶ原	高ボッチ高原	岡	写真撮影
3696	10月11日	奥武蔵	名栗河又	佐藤・他4	フリー
3697	10月11日	奥多摩	天王岩	水野・他1	フリー
3698	10月12日	奥秩父	男山ダイレクト	小堀・初鹿	バリ
3699	10月12日	栃木	古賀志	平・他1	フリー
3700	10/17～19	頸城	火打岳・海谷溪谷	岡	写真撮影
3701	10月18日	奥多摩	越沢バットレス	小堀・佐藤	岩トレ
3702	10月18日	奥多摩	天王岩	水野・他1	フリー
3703	10月18日	丹沢	大山北尾根	平	ハイク
3704	10月18日	奥秩父	大菩薩嶺	北原・他1	ハイク
3705	10月20日	北ア	八方尾根下部	岡	写真撮影
3706	10月25日	東北	虎毛山	平・他1	ハイク
3707	10月25日	奥秩父	瑞牆山十一面末端壁	水野・他1	フリー
3708	10月26日	奥多摩	天王岩	水野・他1	フリー
3709	10月26日	奥多摩	越沢バットレス	桜井・西本	岩トレ
3710	10月26日	奥多摩	天狗岩・赤ボッコ	初鹿	トレラン
3711	10/27～11/16	ネパール	クーンブ山群(ツクチェピーク/ コンマラ峠/カラパタル)	岡	写真撮影
3712	11月2日	奥多摩	カーネルロック	桜井・西本	フリー
3713	11月3日	栃木	宇都宮トレラン(古賀志山)	初鹿・水野	トレラン
3714	11月5日	佐久	五郎山	初鹿・他1	ハイク



沢、岩、雪。沢登りを極めるなら「雨の日でも焚き火くらい点けられなくっちゃ」。沢登り、岩登り、雪山。ひとつひとつを極めることは難しいけど、全部そこそこ「晴れの日なら焚き火できるよ」ってのも、「山登り」には「あり」だよな(^_^♪)。(H)

雪山の季節到来。雪山初めは、蝶から常念へ。蝶ヶ岳ヒュッテの冬季小屋で暖かく過ごしたあとに待っていたのは、登り下りの激しい蝶-常念の稜線歩き。往復してくたくたになり三股の駐車場に下りたのは暗くなってから。帰った翌日には、会報原稿を読んでまとめておりました。これも訓練の一環か。(T)

先シーズンサボっていたアイスですが、重かった腰をあげたらまさかの雨じゃね？出鼻をくじくとモチベーションが下がっちゃった。もともと低モチなんだから。最近猫も遊んでくれなくなっちゃったし、などと文句ばかり言ってないで「そうだ、四国に行くんだっ！」とはいえ今年はアイス行きますよろしく願います皆様(M野)